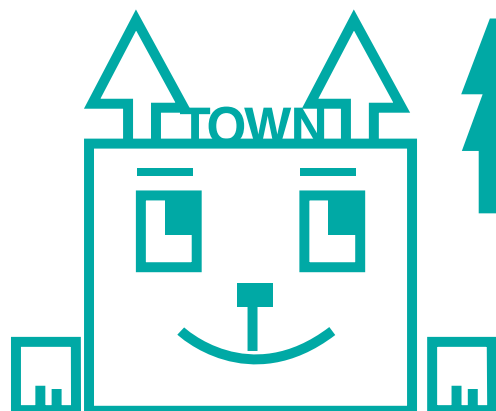


まちのこと、いっしょに考えてみよう。

# まちづくりと



# 街の防災

大阪にあるいろんなまちはどんなふうにつくられたのかな？楽しいまち、災害に強いまち、安心できるまちって一体どんなまちのこと？

大阪のまちの歴史や特徴を探りながら「いざ」という時のこと、一緒に考えてみよう。

財団法人 大阪建築防災センター  
ホームページ <http://www.okbc.or.jp>

- p.1...大阪のまちを知ろう    p.3...大阪らしさをつくる、なおす、まもる  
p.5...わたしのまちはどんなまち？    p.7...災害に備えたまちづくり    p.9...まちで災害に遭ったら

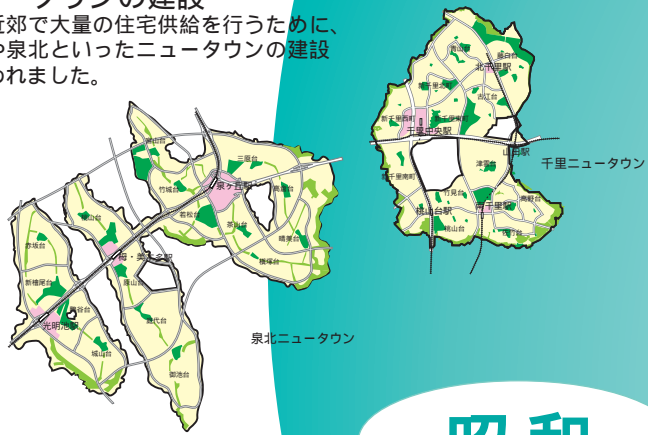
# 平成

## 大阪のまちを知ろう

私たちが住む大阪。淀川・大和川などがつくった大阪平野を中心に、周囲を山々が囲んでいます。どんな風にまちができてきたのか見てみましょう。

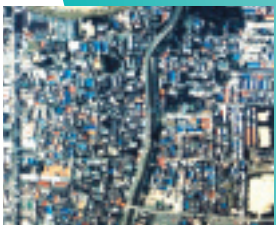
### ニュータウンの建設

都市近郊で大量の住宅供給を行うために、千里や泉北といったニュータウンの建設が行われました。



## 昭和

復興と経済成長  
大阪都心と周辺部へ人口が集中し、密集化も進みました。



毎日新聞社提供

太平洋戦争  
大阪のまちも空襲を受け、まちの多くが破壊されました。

## 大阪と災害



阪神淡路大震災時の豊中市での被災状況

大阪の個性を生かしたまちづくり  
川や海といったまちの緑など、それぞれのまちづくりが進められています。



## そして未来へ

これからは、みなさんがまちをつくっていく時代です。どんな大阪になっていくのでしょうか・・・

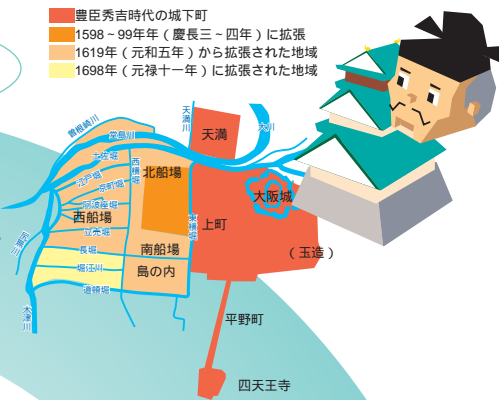
## あなたは大阪のどこが好き？

あなたが「大阪」を紹介するとしたら、どこを、また何を紹介しますか？まち、建物、食べ物、人、テレビ番組などの中からあなたの「これぞ大阪！ベストテン」を選んでみましょう。

No.1	No.6
No.2	No.7
No.3	No.8
No.4	No.9
No.5	No.10

## 安土桃山時代

太閤秀吉のまちづくり  
地形・地の利に優れた大阪に城を築くとともに、城下町が建設され、今日の大阪の基盤がつけられました。



## 戦国時代

国際貿易都市・堺の繁栄  
多くの街道が通る堺は、港町として栄え、さらに国際貿易港へと発展しました。



## 太古

大地の形成  
大阪の東半分は、かつて浅い海でした。水運の良さが大阪がまちとして発展する基礎となっています。



## 奈良～平安時代



集落の形成  
少しずつ農村などの集落が形成されていきました。



## 飛鳥時代

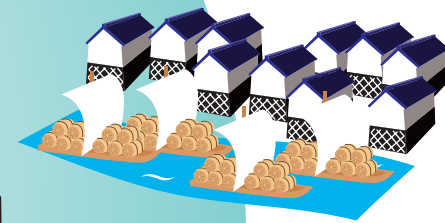
計画的なまちづくりの始まり  
大陸と行き来しやすい大阪に難波の宮がつけられました。これは日本最古の計画的なまちといわれています。



後期難波宮の推定復元図 企画：大林組 画：張 仁誠

## 江戸時代

天下の台所となる  
地の利を活かし、日本中の物産が運ばれ、取引され、天下の台所といわれるほどにぎわいました。



## 明治

近代的なまちづくり  
ヨーロッパの文化や技術を取り入れたまちに変わっていきました。



## 大正

大阪は「災害のないまち」と思っていますか？阪神淡路大震災では、大阪府内でも豊中市などが大きな被害を受けました。約150年前(1854年)に大阪のまちを大地震と津波が襲い、大きな被害を与えましたが、この地震は100～150年の周期で起こる南海沖(和歌山県の南方)を震源とする大地震でした。



大阪市立中央図書館蔵「大地震未だ事種」より

安政の大地震・大津波の被害を描いた絵図

## 地面の下の大阪

地面の下の大阪はどのようになっているのでしょうか？実は阪神淡路大震災を起こしたのと同様の断層が縦横に走っています。

地面の下には、いつ動くかわからない断層があること、100～150年周期で発生する地震が大阪に大きな被害を与えることなどを心にためておきましょう。この冊子では、まちのことを学びながら、自然災害の被害を最小限にする安全なまちづくりについて紹介していきます。

東京大学出版会発行『日本の活断層』をもとに大阪市立自然史博物館にて作図



## 大阪の歴史

- 652年に完成した難波の宮は、平城京などの手本となった日本最古の都と考えられています。大阪市中央区法円坂(大阪城公園の南)に跡地の一部が保存されています。
- 水運・陸運のどちらにも都合が良く、交通の要衝だった大阪。中でも堺は13世紀初頭から瀬戸内海方面と畿内とを結ぶ、軍事物資や商品の輸送の中継地として発展し、手工業生産なども盛んな都市になりました。力をつけた町民たちは、1431年(永享3年)将軍足利義政に自治都市として認めさせ、その後さらに日明貿易を中心とする国際貿易港へと繁栄しました。
- 豊臣秀吉は、大坂城を築くとともに、東横堀川などの堀川の開削、道路や下水道の整備、宅地の造成などを行い、城下町をつくりました。この城下町が今日の大都市大阪の母体となっています。
- 大阪の歴史については、大阪歴史博物館に詳しく展示・紹介されています。いちど訪ねてみましょう。「大阪歴史博物館」は大阪市中央区大手前4丁目(地下鉄谷町4丁目駅から徒歩2分)NHK大阪放送局の隣にあります。



# 大阪らしさを つくる、なおす、まもる

長い時間をかけてつくられてきた大阪のまち。  
新しい時代に向けたまちづくりは、いままもっています。

## 水の都のまちづくり(ウォーターフロントの開発)

川や海など水辺の多い大阪。この特性をいかしたまちづくりが行われています。

道頓堀(大阪市中央区)



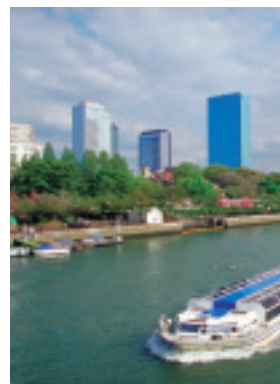
天保山(大阪市港区)



OAP(大阪市北区)



OBP(大阪市城東区)



## 御堂筋

- 昭和の初めに、シンボルロードとして整備された御堂筋は、広々とした道幅、いちよう並木に加え、道路沿いの建物の高さが31mにそろえられることにより、美しいまちなみがつくられました。
- これから建て替える時は建物を高くするとともに、建物の壁面位置を後退させ、ゆとりとにぎわいのあるまちなみにつくりかえようとしています。

## 密集市街地

昭和30年代後半から40年代にかけての高度経済成長期に都心の周辺部などで急速な市街化が進みました。ここでは、道路が狭い、家が密集しているなどの安全上の問題点も多くあります。このようなまちでは、建物をまとめて建て替え、安全なまちへのつくりかえが進められています。



まちはいろんな人が利用します。障害者や高齢者、小さな子どもを連れた人など、だれもが行動しやすく暮らしやすいまちへつくりなおす取り組みもあちらこちらで行われています。駅にはエレベーターを設置したり、音で出入口を案内したりしています。身近なまちが暮らしよいまちになるように、なおしていくことも大切です。



貝塚市

## 寺内町

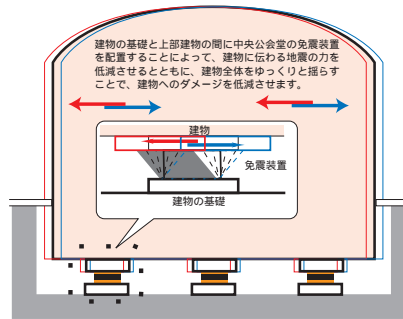
- 富田林や貝塚、八尾には「寺内町」が残っています。これは、お寺の門前に形成されたまちのことで、まち全体が「境内」とみなされ、封建領主や国家に対する税が免除されていました。まちの周囲を堀や川が囲み、防備を固めていたことなどから、今もまとまって古いまちなみが残っています。
- 歴史を伝えるまちなみは、これからも大切にしていきたいものです。

## 建築物の保存・再生



### 中之島の中央公会堂

大阪を代表する近代建築物として中之島中央公会堂があります。大正7年(1918年)に完成したのですが、長い年月をへて老朽化したため、平成11年から14年に、免震化を含めた改修工事を行い、再びまちのシンボルとして生まれ変わりました。



免震装置

### 大阪城 平成の大改修

- 豊臣秀吉の城は、1615年「大坂夏の陣」によって落城しました。その後、江戸幕府によって再建工事が行われましたが、落雷によって再び天守閣を消失してしまいました。
- その後、昭和6年(1931年)に、歴史上3代目の天守閣が市民の寄付などによって鉄筋コンクリートづくりで再建復興されました。
- 平成に入って復興から60数年がたち、老朽化もみられたことから、平成7~9年に大改修を行い、シンボルとしての姿を未来に伝えています。



## 歴史的なまちなみの保存

### 枚方宿・鍵屋

- 昔、まちをつなぐ街道に宿場町が形成され、行き交う人々にぎわっていました。大阪と京都を結ぶ京街道沿いの枚方宿に残る旅籠(はたご)だった「鍵屋」は、歴史的な建造物として保存され資料館として活用されています。



## 住民参加のまちづくり

- まちづくりなんて私には関係ないと思っていませんか。本当は、まちで暮らす私たちまちづくりの担い手です。それも大人だけの仕事ではありません。
- まちを新しくつくる時に、住む人たちが一緒になって希望のまちを提案することや、今住んでいるまちをもっとよくするために、住む私たちがみんなで考え、取り組んでいくことが大切です。このことは法律でも定められました。
- 市町村によっては中学生むけのまちづくりイベントを開催しているところもあります。
- 私たちのまちづくり、それは難しいことではありません。気軽にできることから、まちをよくする取り組みを始めてみましょう。



建築協定はまちの環境を守り、そだてるために、住む人たちがみんなでまちのルールを決めるものです。大阪府内に建築協定がどれだけあるか調べてみましょう。

## これらもまちづくりです



大型ショッピングセンターが増えて商店街は売上げが減るなどのダメージを受けました。このため、商店街の特徴をつくり、イベントを行ったり、商店街の人々が力を合わせた様々な工夫をし、にぎわいを取り戻す活動が行われています。



## 世界のまちなみ保存

世界の素敵なまちなみも地域の人の努力や保存のためのルールによって守られています。

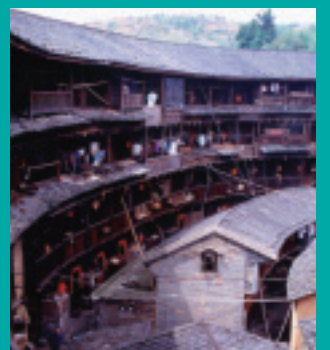


イタリア・ベネチア

あなたがいてみたいまち、素敵だと思うまちのよさについて考えてみましょう。



ドイツ・オスナブリュック



中国・福建省

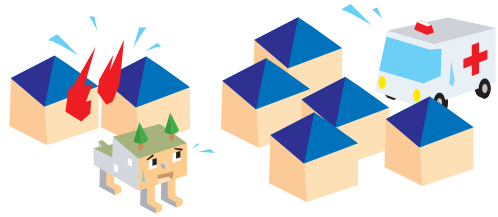
撮影:小南一郎



# わたしの まちは どんなまち?

## 自然に、徐々にできたまち

- ・古くから続くまち、自然にできたまちなどは、地域の人が顔見知り、コミュニティも比較的良くできているものです。
- ・しかし、道が細くて救急車や消防車などが通れない、行き止まりがあって避難できないなど、まちとしての弱点もあります。火事が起きるとすぐ隣へと燃え移ってしまう可能性もあります。
- ・このようなまちでは普段から水を蓄え火事に備えておくこと、隣近所でいつでも助け合える状況にしておくことが大切です。



旧集落など

## 計画的につくったまち (土地区画整理事業、再開発事業など)

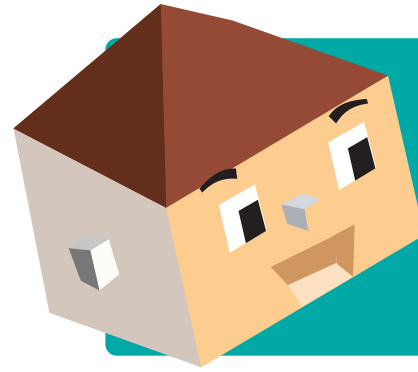
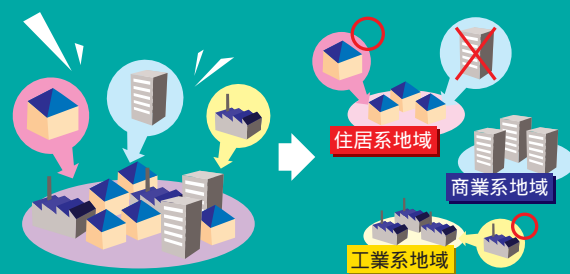


- ・まちのみんなで使う道路や公園を確保し整えるため、計画的にまちをつくります。その代表的な方法に「土地区画整理事業」や「再開発事業」などがあります。
- ・新しくつくられたまちは、火事などの災害には比較的強いのですが、ご近所の人たちとの結びつきが弱い傾向にあり、いざというときに助け合いができない場合も考えられます。このため、地域のコミュニティをつくり、高めていくことが大切です。

- 土地区画整理事業** 曲がった道や細い道路・ゆがんだ形の敷地を整えて、道路や公園などの整備をすすめる。
- 再開発事業** 鉄道用地や工場用地などの跡地や密集住宅地などを整備し、高度利用をすすめる。

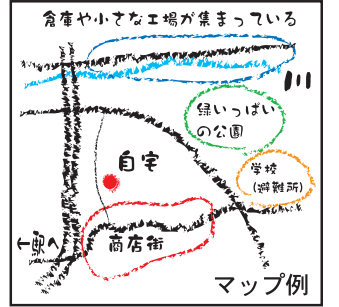
## まちを整えるしくみ

- ・まちには住居地域、商業地域、工業地域などがあります。
- ・住宅と工場などが混在すると、互いに住みにくかったり、仕事しにくくなったりします。
- ・そこで法律によって、地域の種類を決め、場所ごとに建てられるものなどを定めています。
- ・建物をつくらうするとき、その内容を役所や専門の確認検査機関に届け出て、まちの決まりにあっているか、安全な建物であるか、の審査を受けます。



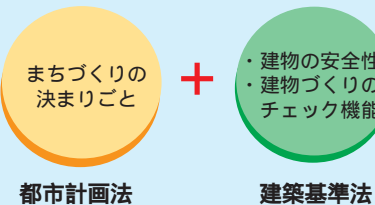
## 私のまちマップ

- ・あなたのまちはどんなまちですか?
- ・思い出したり、まちに出かけたりして「私のまちマップ」をつくってみましょう。
- ・途中、素敵なおみやげやおもしろい場所・建物などあれば、マップに描いていきましょう。
- ・そして、いざ!というときに避難する場所も描いておきましょう。



まちのことをよく知っておくことはとても大切です。どうしてかって?

この2つの法律によって、  
良好なまちがつけられています。



都市計画法

建築基準法

# 災害に備えたまちづくり

地震・台風・落雷、そして火事...  
どこでどんな災害に遭うかわかりません。

前のページでつくった「私のまちマップ」で、  
次のような場所はありませんか？

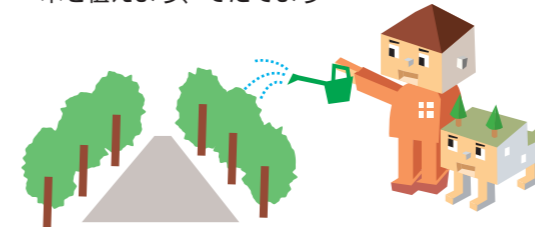
こんなところは	こんなことが起きるかも
屋根瓦がずれるなど傷んでいる家	地震や台風で瓦などが落ちてくるかも
傾いている、または高く長いブロック塀がある	地震で壊れて倒れるかも
土や岩などの自然の崖がある	地震や大雨でくずれれるかも
ひび割れのある高い「よう壁(家の7P参照)」がある	地震や大雨でくずれれるかも
(地震対策のされていない)橋、歩道橋がある	地震で壊れて倒れるかも
とても狭い道がある	地震で道がふさがれる、火事で燃え移るかも
手入れされていない看板がついている	地震や台風で飛んでくるかも
老朽化したアーケードがある	地震や台風で壊れるかも
一階部分が柱だけのビルやマンション	強度が十分でないと地震で倒れるかも
海や川沿いの低い所	地震後の津波や台風の冠水にあうかも
煙突や鉄柱などの細長い構造物がある	地震や台風で壊れて倒れるかも
過去に洪水を起こした川がある	台風や大雨で氾濫するかも

こんなところは	役立つことがいろいろある
街路樹が続いている	火事の拡大や地震による建物の倒壊を防ぐ。避難路になる
広い通り	比較的安全な避難路になる
池、水の流れている川	火災時の水源になる
グラウンドや公園、広場	避難場所になる
(海沿いの町)高いところ	津波からの避難場所になる

このような場所があれば、図に描いておきましょう。  
(危ないところ、安全なところがわかるように色を分けると良いでしょう)  
そして、避難場所まで安全に通れるルートを記入してみましよう。

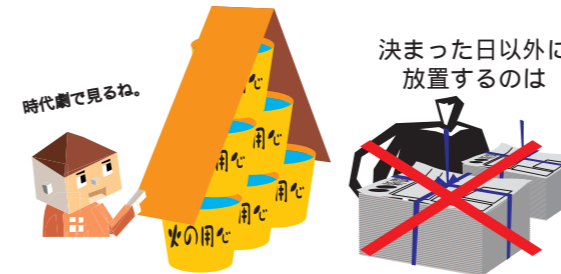
## 地震や火事に備えて

木を植えよう、そだてよう



- 大きく育った街路樹が、震災時に道路への建物の倒壊を防ぎました。また火災の延焼を防ぐ効果や、大雨の時に水を貯えて、水害を防ぐ効果などもあります。
- 地球温暖化の防止にも効果のある緑の木々。家庭で、学校で、地域で、様々な場所での緑化を進め、大切に育てましょう。

## 火事に備えて



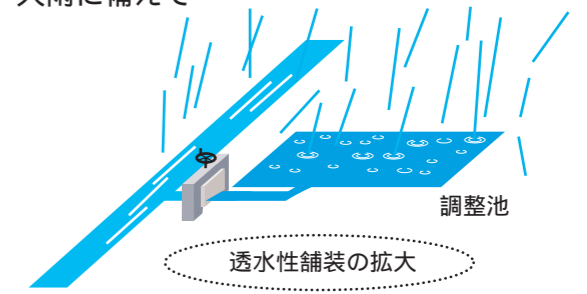
- 火事の原因は放火がもっとも多いため、燃えやすいものを家の外に放置しないこと、ごみの持ち出し日時を守る事が大切です。
- また、非常時に使える水をためておくことも大切です。

## 災害に備えて



- いざというとき、自分の力だけでは何もできないことがあります。家族、地域といった人々の力を合わせて助け合うことが大切です。
- まつりなどのイベントや清掃活動などに積極的に参加するなどし、地域コミュニティを大切にしましょう。
- お互いが顔見知りのまちは防犯の効果も高くなります。

## 大雨に備えて



- 大量に降った雨水が一気に川へ流れこむと洪水を起こす可能性があります。これを防ぐため、雨水を一時貯水する場所「調整池」がつけられています。学校の校庭や公園などにその機能を持たせているところもあります。
- また、雨水を地中にしみこませる事も大切です。できるだけ舗装しないこと、舗装が必要な場合は透水性のある材料を使うことが望まれます。

## 津波・高潮に備えて



- 地震による津波や、台風などによる高潮(低気圧や風の吹き寄せによる水面の上昇)からまちを守るために防潮堤や水門がつけられています。

どんな災害にも対応できるよう  
普段から備えておくことが大切です。

- 安全な場所(避難所など)を知っておく
- その場所までの安全なルートを知っておく
- 市役所や役場が発行している「ハザードマップ」で被害を受けそうな場所を見ておく
- 非常用の持ち出しを用意しておく
- (家の10ページを見よう)
- 地域のコミュニケーションを大切にしておく

## 安心して住めるまちにするために

- ひったくりやちかん、空巢など、まちの中で様々な犯罪が起きています。交通事故に遭うことも考えられます。
- まちの安全を災害だけでなく防犯・事故被害の防止といった観点からもチェックしてみましょう。

- 見通しの悪い交差点
- 人が隠れていそうな場所
- 見通しのきかない塀や柵
- 急、あるいは長い坂道
- 放置された空き家
- 街路灯の少ない通り など

## 火事の被害を防ぐために

- まちの中には「消火栓」と書かれたマンホールがあります。大きな建物の場合は、壁などに埋め込まれた「消火栓」があります。どちらも消防活動に、とても大切です。
- この消火栓の上や前に物を置くと、消防活動の妨げになり、人の命に危険が及びます。
- 消火栓の上、前、まわりには常に「物を置かない」ことが大切です。



## 建築用語の基礎知識

アーケード  
通路に屋根のある商店街。またはその屋根のこと。

## なぜ台風は起きる

- 台風はフィリピン東方の太平洋上で発生します。水温の高い海域で海上の空気が暖められ、水分をたくさん含んだ上昇気流が生じ、気流の流れに乗って発達しながら北上し、日本へとやってきます。

## 台風の強さ

階級	基準
(表現しない)	最大風速33m/秒未満
強い	最大風速33m/秒以上44m/秒未満
非常に強い	最大風速44m/秒以上54m/秒未満
猛烈な	最大風速54m/秒以上

## 風の強さと被害の程度

- (平均風速) 10m/秒 傘がさせない。
- 15m/秒 看板やトタン板が飛び始める。
- 20m/秒 小枝が折れる。風に向かって歩けない。
- 25m/秒 屋根の瓦が飛び、テレビのアンテナが倒れる。
- 30m/秒 雨戸がはずれ、家が倒れることもある。

資料:「防災白書」より。風速は10分間の平均風速。



# まちで災害に遭ったら

地震、雷、火事、台風、洪水、津波…。  
どんな災害が、いつ起こるかわかりません。

## 地震のとき

ガラスが割れて降ってくる！  
(ガラスは凶器になるよ)

看板や瓦、植木鉢など  
何が落ちてくるかわからない。

ブロック塀が  
倒れるかも・・・



### 屋外にいるとき

まずは身の安全を守ろう。  
・ブロック塀が倒れてくるかもしれない！  
塀にも近寄らない。

・上から何が落ちてくるかわからない！  
カバンなどで頭を守る。  
建物に近寄らない。

近くに負傷者はいないか？  
自分の安全が確保でき、近くに負傷者がいたら  
救助活動に参加しよう。



### 映画館やホールに いるとき

ゆれがおさまるまで椅子と椅子の  
間にかがんで身を守ろう。

非常口へ殺到しない！  
係員の誘導に従うこと。



### エレベーターに 乗っているとき

揺れを感じたら全部の階のボタンを  
押して、止まった階で降りて階段で  
避難する。

閉じこめられたら非常ボタンを押して  
救助を呼び、落ちついて助けを待  
とう。

### 地下街にいるとき

パニックに気をつけて。(悲鳴をださない)

停電しても非常灯がすぐにつく。  
万一つかない時は壁を伝って出口を探そう。

迷路パズルを  
解くコンも同じだ。



### 電車・バスに乗っているとき

急停車による将棋倒しに注意！

駅のホームでは落下物に注意！

地下鉄の場合、線路のすぐ近くを通る高圧電流に注意！

## その他の災害のとき



### 台風の直撃

警報が出ている時は出歩かない。

帰宅中などは飛来物や大雨に用心しよう。

土砂崩れ・崖崩れ、洪水に気をつけよう。  
早めに避難しよう。

### 洪水警報が！

おもしろ半分で見物には絶対行かない！

家では2階へ貴重品を避難させる。  
早めに避難しよう。

地下街も水が流れこむ  
可能性があるので注意！



### 落雷が！

大木の近くは危険！  
近寄らない。

グラウンドにいるときは  
建物に避難する。



### 建物の中や地下街 で火事にあったら

煙を吸わないように注意！  
ハンカチなどで口と鼻を覆う。

低い姿勢で逃げる。



### まちで火事を見かけたら

119番に電話する。

初期消火を手伝おう。



### 津波がくる！

海辺で大きな地震にあったら  
すぐに高台に逃げる！

津波は繰り返しやってくる。  
見物には絶対行かない！



東南海地震・南海地震が同時  
に起きた場合、津波による死者  
が3300～1万1700人と、地震  
による想定死者数の約6割  
になると考えられています。

いざというとき、あなたはどん  
なことに気をつける？

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

## ボランティア活動しよう

・災害に見舞われるとどんな援助が必要になる  
かわかりません。あなたの力も役にたつ場面が  
あります。

・あなたのまちが災害から免れたなら、他のまち  
でのボランティア活動に参加することも大切  
です。

・何をしたいかわからない時は、ボランティア  
活動をしている団体や自治体の窓口などに問  
い合わせ、どんなことが自分にできるか聞いて  
みましょう。

## ガソリンスタンドを活用しよう

・他のまちへ遊びに行っているときに災害に遭ったら、電車もバスも止まった状態で家  
に歩いて帰らなくてはなりません。道もわからないかもしれません。

・そんなときはガソリンスタンドを活用しましょう。平成15年(2003年)に大阪府と大阪市、  
ガソリンスタンドの組合(大阪府石油商業組合)の間で、非常時に「府内ガソリンスタン  
ドのトイレの貸し出し、安全なルートの情報提供などを行う場として活用する」ことな  
どの協定が結ばれました。

・いざというとき、頼りにできる場所であることを知っておきましょう。

ガソリンは引火しやすく危険なものです。ガソリンスタンドは周囲に火災が及ばないようにとでも防火性  
の高い設備になっています。そのおかげで阪神淡路大震災でも被害が少なかったのです。

## 避難場所での生活について

・家から避難しなければならないとき、学校などが避難場所とな  
ります。ここでは様々な人が集まってしばらくの間、生活する  
ことになります。

・高齢者や小さな子どもがいる家庭はとでも大変です。元気なあ  
なた達ができることを少しでも手伝ってあげてください。

## 東南海地震・南海地震について

・この地震は今、私たちが最も注意を払わなければならない地震です。

・同時に起きることも想定されており、最悪の場合、死者は2万人を  
超え、建物の全壊は約62万棟になると予測されています。また、建  
物が倒壊した直後に10メートル(3階建ての建物の高さ)を超え  
る巨大津波が来襲する複合災害になると考えられ、関東大震災以  
来最大の被害規模になると予測されています。

・あなたが犠牲者のひとりにならないようにするには、このパンフ  
レットなどを読んで普段から心構えをしておくことが大切です。

# まちの中で災害にあったら...

地域の一人として考えよう

地震の時はゆれがおさまるのを待ってから避難口を確保しようと思う。火の始末も大切だな。

野球場ではグラウンドに逃げた方がいいって聞いたよ。

落ち着いて行動することワン！

おとなりはお年寄りの一人暮らし。だから安否を確認する人のリストに加えておこう。

地域の清掃活動に参加したら顔見知りになれるかな？

コンサート会場や野球場などの人が集まる場所では将棋倒しの事故もある。巻き込まれない方法ってあるかなあ？

Red circular area with horizontal lines for writing.

君の意見をぜひ書き込んでみよう。

## 大人も子どもも家族も、学校の人も地域の人も...

Green circular area with horizontal lines for writing.

君の意見をぜひ書き込んでみよう。

## いろんな人と一緒に考え、備えておくことが大切だね。

普段からの心構え！家族で避難場所、連絡方法をちゃんと確認しておこう！

火事に備えて、資源の有効利用も考えて、雨水を蓄えることをしてみようか？

本棚や食器棚が転倒しないように補強しておこう。

もし災害が起きたらボコンナイアで人助けすることも考えなっちゃ。

火事が起きたら、早く知らせる、早く消す、早く逃げる！

家族の人も一緒に考えよう

# 家の中で災害にあったら...